

＜新木場＞気になるスポット テイク・オフ有限会社さんを訪ねて

月報委員会 委員 岩本眞吾

4月3日小雨交じりの中、テイク・オフ有限会社の常務取締役 中脇裕也様を訪問いたしました。

月報委員からは本西担当役員、深谷委員長、岩本の3名で伺いました。

中脇様の義父に当たる社長が昭和61年2月、文京区小石川にて創業。バブル当時、アパレル業界はそれほど華やかだったようで、あちこちでファッションショーなどのイベントが行われていたそうです。そこで使用するハンガーラックや鏡といったアイテムをリースする事業として立ち上げられたとのこと。

ところがファッション業界もご多分に漏れずバブル崩壊後展示会は激減、ファストファッションなどの台頭もあり売り上げは減少。

そこへ当時お付き合いのあった羽田空港より、お土産売り場の商品陳列のための什器を上質にしたいとの申し出があり、照明を当て光らせてにぎやかな演出のワゴンなどを作成。消費者の目を惹き売り上げも好調で、それまでワゴンにお金をかけるよりは商品に、と考えていた百貨店業界までもがなびいてくれたとか。以後主にデパートや駅ナカ、空港などの催事で使用する主として食品を扱うワゴンや棚をリースする業態へと舵を切ったそう。

主力製品は行灯式平台およびガラス製のショーケースタイプで冷蔵庫無しのワゴンが主体のため、クリスマス商戦からバレンタインデー・ホワイトデーまでの時期が繁忙期とのこと。

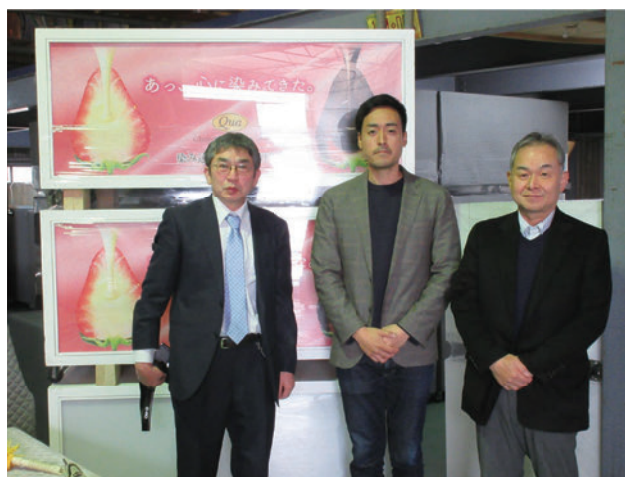
リースと販売の比率は8対2くらい。販売する場合、展示スペースに合わせ、奥行きを詰めたり幅を調整したりとフルオーダーメイドも可能。

新木場へは平成10年5月に本社兼倉庫を移し、以来25年以上この地で過ごしてきたそうです。

図らずも、得意先が羽田空港、成田空港、そして東京駅をはじめとする首都圏のターミナル駅



外観



左から岩本、中脇常務、深谷



倉庫内の TAKE OFF と描かれた絵



照明がとる行灯式平台



パネル設置作業中の行灯式平台



目を惹くパネル

(千葉駅や横浜駅など) ということで、本社兼倉庫が新木場にあるメリットは計り知れないそうで、月報委員 3 名も嬉しくなりました。

閑散期を利用し関西や九州などを営業で回った成果が出て、2023年には関西へも進出。また、羽田空港のお土産売り場の活況を聞きつけた地方空港(関西国際空港、福岡空港、新千歳空港など)から、外国人旅行者相手に説明文よりも目を惹きつけ、見てすぐに商品を買いたくなるワゴンである、と導入に前向きな声も頂いており、売り上げは右肩上がりのようだ。

というわけで悩みは人材難とのこと。

また、葛飾区奥戸にある南葛SC(サッカー漫画『キャプテン翼』の主人公・大空翼が所属するチームと同名の社会人サッカークラブ。原作者である高橋陽一氏がクラブの代表を務める)のサポーターもご縁があってされている。今はJリーグの下部組織だが、元全日本の稲本潤一選手(昨年惜しまれながらも引退されました)など、有名選手もかつてはいらして、将来が楽しみなチームのようだ。

中脇常務の趣味は外房でのサーフィン、草野球。草野球は高校時代のご友人と結成したチームで、夢の島野球場を本拠地に活動されているようです。

また、最近義父の影響で三社祭や深川での神輿担ぎにもはまっているというアクティブな方。

事務所には古き良き時代のアメリカを思わせる、わかりやすく言うところ「びっくりドンキー」の店内にあるようなお洒落なサインボードなどが飾ってある。社長の趣味だそうで初めて伺ったとは思えないリラックスした雰囲気でお話を伺うことができました。

最後になりますがご多忙にもかかわらずお時間をいただき、改めて中脇常務、従業員の皆様、ありがとうございました。

詳しいお問い合わせは「テイク・オフ株式会社」WEBサイトをご覧ください。

テイク・オフ株式会社
江東区新木場 1-11-15



従業員も絶賛大募集中です！



事務所内の雰囲気



事務所入り口に飾られたプレート